

学校だより

百折不撓

上野原西中学校

上野原西中学校 学校通信

第 7 号

令和 6 年 12 月 13 日 (金)

文責 校長 森 卓弥

TEL 62-3103

ふれあい学校訪問 授業の様子を見学！！

11月29日(金)に富士・東部教育事務所長、指導主事が本校の生徒と授業の様子を見てくださいました。指導主事からは、生徒が課題にしっかりと取り組み、集中している、協働的な学びの中で生徒同士の学びがある、先生方の指導の方向性が同じであれば授業の見通しや展開も一貫性があるというお話がありました。全体的に落ち着いた雰囲気、生徒達が学習に向かっている。だからこそ、教材研究の時間を確保しながら「子供主体の授業への授業観の転換」に向けた取組をしてほしいということでした。今後は、教材研究の時間を確保するためには、どのような工夫があるのかを考えていく必要があります。



第20回野原市駅伝競走大会！男女ともに力を尽くしました。

12月8日(日)に上野原市駅伝競走大会が行われました。期末試験が終わってから、この日の大会に向けて、練習する日数も少ない中で厳しい練習を積み重ねてきました。グランドでの練習や試走を重ねていく中で、徐々に目標とするタイムに近づいていきました。

当日は、体感暑すぎず、長距離を走るのに絶好の天候となりました。各区間を任された生徒達はたすきを次の走者に繋ごうと、必死で自己ベストを目指して走りました。女子は1区のリードを各走者がそのまま守り抜き、見事優勝することができました。男子については、それぞれの走者がタイムを少しずつつめていき、結果として準優勝と三位という結果を残しました。男女ともに区間賞を獲ることができた生徒もいて、充実した大会となりました。反省の弁を述べる生徒もいましたが、「駅伝なのでチームで頑張ったんだから、そんなことは気にしないでいいよ。」という声を掛け合っている姿も見られました。短い期間でしたが、厳しい練習と一緒に乗り越えてきて、連帯感やきずなが深まり、上野原西中学校のいいところを再確認できた良い大会でした。

運動することが苦手な生徒が増えているようですが、文科省からも運動部活動を通じて生徒同士や教員と生徒等の人間関係の構築を図ったり、生徒自身が活動を通して自己肯定感を高めたりするなど、その教育的意義が高いことが認められています。

